

株式会社ギガプライズ  
2022年3月期 通期 決算説明会 質疑応答（要旨）  
（2022年5月17日開催）

当決算説明会における主な質疑応答の要旨は、以下の通りです。

なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう、加筆修正しております。

Q 1	景気の不透明感ができているが足元の状況に変化があるのか教えてください。
A 1	当社の主なお客様である OEM 提供先企業様の景況感については、前期と比較して大きな変化はございません。ただ、提供先ごとの導入率の進捗が異なりますので、提供戸数の内訳については、前期と異なってくる可能性はあると認識しております。
Q 2	集合住宅向け ISP サービスの市場環境について教えてください。
A 2	現時点におきまして、導入余地があると考えておりますので、引き続き、サービスの差別化や販売チャネルの拡大を図り、新たな受注に繋げてまいります。
Q 3	集合住宅向け ISP サービスの競争環境について教えてください。
A 3	競争環境につきましては、今後も激化すると想定しております。OEM 提供先様との連携を強化し、更なるサービス品質の向上を図り、現状のシェアの維持、拡大を目指してまいります。
Q 4	新規事業について教えてください。
A 4	クラウドカメラにつきましては、ISP サービスとの親和性が高く市場のニーズも高いため、ISP サービスと同様、OEM 提供先企業様の標準サービスとしてお取り扱いいただけるよう、推進してまいります。 また、その他の IoT 商材についても、ISP サービスとのパッケージモデルなど、顧客ニーズを捉えたサービスのリリースを目指してまいります。
Q 5	配当が未定の理由について教えてください。
A 5	配当をはじめとした株主様への還元は、重要な課題の一つと認識しております。 将来の既存案件の受注状況、新規事業への投資のタイミングや情勢不安によるリスク等を考慮し、検討しておりますので、決定次第速やかに開示させていただきます。
Q 6	収益認識基準の適用による営業利益へのマイナスの影響について教えてください。
A 6	新基準適用の影響を受ける集合住宅向け ISP サービスにおいて、初期回収モデルと期間回収モデルの比率や、工事完了数全体におけるお客様の構成比が予想と異なったことにより売上高が予算比で減少いたしました。一方で、販管費の削減等により、保守費用の増加などのマイナス影響を打ち消したと認識しております。
Q 7	業績予想の売上高の内容について教えてください。
A 7	ISP サービスについては、前期同様の提供戸数 15 万戸増を目指しており、新規事業につきましては不確実性を考慮して保守的に見込んでおります。